

## 带状疱疹ワクチンRSウイルス 感染症ワクチンについて

**Q** 国による带状疱疹ワクチン定期接種化が予定をされていますが、町独自に対象年齢や助成金額などの補助についての考え、更にはRSウイルス感染症ワクチンの助成についての考えを伺いたい。

**A** 带状疱疹ワクチンについては、国の審議会において定期接種化することで進められておりますので、今後、国からの正式な通知を待つて、ワクチンの接種対象者や接種費用、国の補助金の額等が示され次第、近隣の自治体の状況も踏まえながら、独自に接種対象者の拡大や助成金などの補充が必要なのかを検討させていただきます。新年度から実施できるように進めてまいりたい。また、RS感染症ワクチンについては、国や県内各自治体の動向について注視をしております。  
(町長・町民生活部長)

## 自殺防止対策について

**Q** 子どもの自殺防止の対策として、タブレット端末などを用いた検査で、自殺リスクを可視化するITツール「RAMPS」を導入

している学校もあるが当町としての考えを伺いたい。

**A** 現在、茨城県では、児童生徒にとつて安全、安心で魅力ある学校づくりを推進するため一人一台端末を活用した「いばらき心の健康観察」というシステムが令和6年2月に作成されました。この「いばらき心の健康観察」につきましては、小学校でも容易に回答が可能であり、無償で利用できることから、当町では令和6年度中に導入する方向で検討しており、現在はそのための準備を進めているところでございます。  
(教育長)

## 地方就職学生支援について

**Q** 地方の高校を卒業した若者が大学進学を契機に東京に転居し、その大半が地元に戻ることなく東京で就職する事が地方人口の社会減の要因ともされ、国による地方就職学生支援事業が新設されました。令和7年度には、更に拡充した支援が予定されていますが、当町としての国への申請や取組の考えを伺いたい。

**A** 現在、県内市町村では、申請を検討している自治体は1市町村です。当町でも実施の方向で準備を進

めてまいります。また、有効な支援等を調査・検討して支援を拡充してまいります。  
(町長・企画部長)

## 議席6番

青木 輝明 議員



## プレミアム付電子チケットについて

**Q** 物価高騰により、農業経営者や商業者等の支援を考え、昨年度のプレミアム付電子チケットさかエールPayの効果について、また、今後の当町の考えを伺いたい。

**A** 「さかエール！Pay」発行事業につきまは、町民からも事業の実施を希望するご意見が寄せられておりますので、実施の際には発行総額やプレミアム率につきましても議員の皆様にご相談を、決定したいと考えております。今後、社会の情勢に即したデジタル化の普及に努めながら、町民の生活を支援するとともに、経済の

活性化につながるよう取組んでまいります。  
(町長・秘書公室長)

## オリジナルミネラルウォーター と鰻の加工施設について

**Q** 今年7月に熱中症対策の一環として、0歳〜2歳、65歳以上の居る世帯に境町オリジナルミネラルウォーター配布の反響と今後の取り組みについて伺いたい。

**A** 緊急猛暑対策として、7月9日から12日までの4日間で、ミネラルウォーターを希望する世帯の96・89%にあたる3,679世帯に配布をさせていただいたことから、町民の皆様がこの事業が広く認知され、ご活用いただけているものと思われま。引き続き、町民の皆様へ寄り添い、必要と思われる施策を実施してまいりたいと考えております。  
(総務部長)

**Q** 鰻の蒲焼加工施設にて、低価格販売し反響が大きかったと思うが、今後の取組について、また、町内の飲食業へ鰻の卸しや流通など今後の取組を伺いたい。

**A** 今後の取組としましては、「河岸の町」として発展した文化の再興を目指した「利根川鰻復活プロジェクト」を実現させるため、